

モニタリングレポート(令和2年度)

施設名		伊勢型紙資料館			
施設所在地		鈴鹿市白子本町21番30号			
指定管理者名		伊勢型紙技術保存会			
評価担当課		文化財課	問合せ先	059-382-9031	
施設の運営状況		(確認方法)月次報告書及び年度事業報告書			
開館日数	214日	総利用者数	2,567人	1日当たりの利用者数	11人
開館時間	午前10時から午後4時まで				
事業収支		(確認方法)年度事業報告書			
項目	計画値(単位:円)	実績値(単位:円)	計画比(単位:円)		
指定管理料	1,552,000	1,552,000	0		
雑収入(前年度繰越金)	0	70,639	70,639		
雑収入(利息)	0	8	8		
収入計	1,552,000	1,622,647	70,647		
人件費	1,350,000	1,309,012	▲ 40,988		
消耗品費	7,000	64,536	57,536		
委託費	120,000	0	▲ 120,000		
保険料	40,000	32,350	▲ 7,650		
修繕費	35,000	180,000	145,000		
手数料	0	550	550		
支出計	1,552,000	1,586,448	34,448		
収支	0	36,199	36,199		

評価項目	確認方法	評価	所見
業務の履行確認 (計画書や仕様書の内容を満たしているかを○×で評価)	月次報告書	○	適切に履行されている。
	現地調査	○	適切に履行されている。
	定例報告会	○	適切に履行されている。
サービスの質 (「優良・良・普通・要改善」の4段階で評価)	アンケート	良	任意アンケートから概ね満足の回答を得ている。
	現地調査	良	衛生・景観面ともに良好な状態が保持されている。
業務遂行能力 (各種財務指標等を参考に同業他社との比較も含めて○×で評価)	貸借対照表	一	
	損益計算書	一	利益を求める団体ではない
	キャッシュフロー計算書	一	
	年度事業報告書 (事業収支表)	○	確認事項は問題なし。
	その他財務諸表等	○	確認事項は問題なし。
年度業務報告書の内容評価			(適)・不適
業務の履行、サービスの質、業務遂行能力、いずれの点においても概ね良好である。			
定例報告会の頻度と内容の評価			(適)・不適
上半期・下半期で各1回、報告会を実施し、質疑応答及び課題共有を図った。			
緊急時の対応評価			(適)・不適
特段の緊急事態発生はみられなかったが、取材等の申出が多い施設であり、対応には高度な知識が求められる。今後も報告・連絡・相談の徹底を図るよう確認した。			
指定管理者の総括評価			(適)・不適
伊勢型紙の高度な彫刻技術を有する団体であり、毎年行われている企画展や毎月第4日曜日に実施されている彫刻実演は、本団体にしかできない事業である。その強みを活かした更なるサービス向上に期待する。			
施設の課題と対策			
新型コロナウイルス感染症対策について、引き続き対応いただきたい。 旧伊勢街道に近く、公共交通機関においても、便利な場所に位置することから、鉄道事業者や旅行会社等との連携を強化し、来館者数の増加に努めていただきたい。			
施設の方向性			
蔵の瓦修復工事を行った。また、地震小屋のエアコン設置工事やトイレ改修工事を行った。 伝統的な木造建造物であり、市の指定文化財(史跡)となっているため、その維持には難点も多いが、施設へのニーズは高く、不可欠な施設であるため、今後も維持していく方針である。			